

生徒と議員による意見交換会（試行実施）の実施概要（委員長試案）

1 取組のねらい

京都市が実施している施策をテーマに、生徒らが幅広い視点で課題や解決策を議員と共に考えることで、政策形成の仕組みを体験しながら学ぶ。また、このことを通じて、若い世代に京都市会を身近に感じてもらい、主権者として政治参加への意識を高めてもらう。

2 参加者

- 市立高校の在校生 30名程度
 - ※ 教育委員会の協力を得ながら、学校を通じて参加を呼び掛ける。
- 市会改革推進委員 15名

3 開催場所

京都市役所2階 委員会室
※ 別途、議場見学あり。

4 実施時期

平成28年12月26日（月）又は27日（火）（学校の冬休み期間中）

5 テーマ

（1）テーマ選定の流れ

- 以下のテーマ候補の中から、市会改革推進委員会において2つ選定する。
- 参加者にもテーマを募集する。
- 参加者から提案があった場合、正副委員長会議において協議し、取り上げられそうなものがあれば1つ選定する（取り上げられそうなものがなければ、委員会で選定した2つのテーマで実施する。）。
- 参加者に対して、当日議論したいテーマの希望順を書いてもらう。

（2）テーマ候補

- まちの美化
- 観光客の増加を取り巻く問題
- 民泊問題
- 四条通の歩道拡幅事業
- 屋外広告物の適正化

（3）事前の資料提供

参加者の希望するテーマを踏まえてグループの振分けをした後、テーマに関する概要が分かる資料を参加者に事前に提供する。

6 当日の進行（所要時間：概ね2時間10分程度）

全体

- 開会挨拶【3分】
- 市会及び議員の活動内容の紹介【7分】

グループ（6グループ：各グループ議員2名，生徒5名）

- 参加者同士の自己紹介【5分】
- テーマに関するグループディスカッション
 - ・ どのような課題や問題点が考えられるか。（課題や問題点の洗い出し）【10分】
 - ・ どうすれば課題や問題点を解決することができるか。（解決策の検討）【30分】
- ※ 上記5（1）で選定したテーマの数が3つの場合は，同一テーマに関して2つのグループが，また，2つの場合は，同一テーマに関して3つのグループが議論を行う。
- ※ 議員はファシリテーター役として，各グループに2名配置し，議論を円滑に進めるとともに，議論を活性化させるため，議員としての客観的な立場から適切な助言等を行い，会派の立場からの発言は行わないものとする。
- 各グループから検討結果の発表（生徒の代表者1名）【18分（6グループ×3分）】

全体

- 各グループの発表内容に対する講評【5分】
- テーマに関する会派の見解の発言【20分】

グループ

- 議員への質問タイム【10分】
 - ※ 生徒が議員に対して自由に質問することができる時間

全体

- 議場見学【15分】
- 閉会挨拶【3分】